

1 主題名 外国の子どもたちを知る 4－（8）

2 資料名 同じ地球の子どもたち（日本標準）

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

現在、地球に生きる子どもたちの現状は、日本の子どもたちの生活とは大きくかけはなれている。自分たちの平和で豊かな生活とひきかえ、世界には日本と全く違う文化、貧困、内戦や戦争など生きることへの危険性にさらされている国が数多く存在するということを知ったとき、同じ人間として、世界中の人々の平和と幸せを願わずにはいられないだろう。

(2) 児童について

全体的に前向きで素直な子が多い。6年生として、人の役に立つことを目標に、日々努力しているところである。本校のエコキャップ運動にも、4月から意欲的に取り組んでいる。しかし、戦争のない平和な日本で暮らし、衣食住に苦労しない豊かな生活を送っている児童にとって、戦争、貧困、人権が保障されない現状を実感することは難しいと思われる。写真や映像を通して、少しでも分かりやすく世界の子どもたちの現状を伝え、自分たちができる小さな一歩を踏み出す意欲につなげていきたい。

(3) 資料について

資料の写真は、日本の子どもの日常には見られない場面である。まず、写真を見て予想をさせた後で事実を伝えることで、写真の子どもたちの困難な状況を深くとらえさせたい。さらに、ユネスコ協会の映像を活用することで、困難な状況の中で生きる世界の子どもたちの実際の生活を、より詳しく理解させたい。

(4) 指導について

児童に、毎日の生活をふり返らせ、困っていることや願いなどを考えさせたい。次に、世界の子どもたちの現状を写真で提示し、どこの国であり、何をしているのかを予想させたい。そして、写真の子どもたちの現状と自分たちの日常とを比較させたい。児童がかかえる困難さや願いは大切にしながら、それらは不自由のない衣食住の生活を保障された日本の安全な環境や社会状況の上に成り立っているものであることも感じ取らせたい。

終末では、現在取り組んでいる奉仕的な活動の意義を再確認させながら、自分たちの課題に対して前向きに取り組もうとする意欲や、世界の子どもたちに対してできることを実践していこうとする気持ちを高めたい。

4 本時のねらい

外国の人々や文化を大切にする心を持ち、日本人としての自覚を持って、世界の人々と親善に努めようとする心情を養う。

5 準備物

世界の子どもたちの現状を示す写真、日本の子どもたちの現状を示す写真、OHC、PC、世界の子どもたちの現状を伝える映像、ワークシート

6 本時の展開

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
気づく	<p>1 自分たちの生活をふり返る。</p> <p>○毎日の生活の中で、みなさんは、どんな困ったことや願いを持っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強や習い事で忙しくてストレスがたまる。 ・友達とけんかをした。友達と仲良くしたい。 ・親に叱られる。 ・おこづかいを増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを考えさせることで、自分の課題として話し合いが進められるようにする。 <p style="text-align: right;">（ワークシート）</p>
考える・深める	<p>2 資料「同じ地球の子どもたち」を読み、7枚の写真をもとに話し合う。</p> <p>○この写真の子どもたちは、何をしているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもなのに働いている。 ・満足な勉強道具がない。 ・子どもなのに武器を持って戦っている。 ・けがをしたり生活が苦しそうだったりするけど笑顔だ。 <p>3 世界の子どもたちと自分たちの生活を比べて話し合う。</p> <p>○自分の悩みや願いと、写真の子どもたちを比べてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくたちの生活は豊かで恵まれていると思う。 ・世界には、生きていくことが大変な子どもたちがたくさんいるんだ。 ・私たちの悩みと、写真の子どもたちの大変さは違う。いろいろな大変さがあるんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず児童に自由に予想させる。 ・映像を示しながら、写真の子どもたちの現状について説明し、理解を深める。 ・日本の子どもたちがかかえる大変さもあることを認め、世界の子どもたちが一方的に「かわいそうな人たち」という発想にならないように留意して進める。
見つめる	<p>4 これからの自分について考える。</p> <p>◎今、みなさんにできることは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちにも大変なことがあるが、がんばっていききたい。 ・世界の困っている子どもたちのためにできることをしていききたい、 ・エコキャップ運動やベルマーク運動にもっと協力していききたい。 	<p>☆世界の子どもたちと自分は無関係ではないということに気づき、小さなことでもいいから関われることはなにか、考えることができたか。</p> <p style="text-align: right;">（ワークシート、発表）</p>
高める	<p>5 教師の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで取り組んできた活動の意義を再確認させ、新たな意欲を持たせる。

7 授業の観点

- ・自分たちと世界の子どもたちとを比較して考えさせたことは、世界の子どもたちを理解する上で有効であったか。